

.....

|                 |                                                                  |
|-----------------|------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故                                                               |
| 2. 体験した事例の名称    | 仮設工作物を解体中に3.6 m下の地上へ転落した事案                                       |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 高所に上がり仮設工作物を解体中、緩めた単管パイプに足を乗せたため、3.6 mの高さから地上へ転落し、頭部を受傷したもの。     |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 解体中、事前に緩めていた緊結金具（クランプ）のことを忘れ、移動の際にその緩めた緊結金具で固定していた単管パイプに乗ってしまった。 |

.....

|                  |  |
|------------------|--|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 |  |
|------------------|--|

.....

|                                  |                         |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成 19 年 7 月 6 日 午後 2 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴                       |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：                     |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。         |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 重傷                      |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 墜落・転落                   |
| 7. 事例体験時の活動                      | その他： [ ]                |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか     | その他：解体作業中               |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 |                         |

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

|                      |                                                                        |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------|
| ○当事者A                | 年齢[ 50 ]歳、勤続年数[ 27 ]年、現場経験年数[ 5 ]年、階級[ 消防司令補 ]、同様の活動 [ 初めて ]、任務 [ 隊員 ] |
| ○当事者B                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]                      |
| ○当事者C                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]                      |
| その他<br>(当事者が4人以上の場合) |                                                                        |

11. 事例発生の経過。

|      | 誰(何)が   | なにをした                                          | その他・備考など |
|------|---------|------------------------------------------------|----------|
| 経過1  | 受傷者ほか4名 | 既存建物（仮設）の解体を開始                                 |          |
| 経過2  | 受傷者     | 地上高3.6メートルの足場部分を担当                             |          |
| 経過3  | 受傷者     | 事前に緩めていたクランプの事を忘れ、移動の際にそのクランプで固定していた単管パイプに乗った。 |          |
| 経過4  | 受傷者     | 受傷者の全体重がかかり、単管パイプが外れて地上へ落下した。                  |          |
| 経過5  |         |                                                |          |
| 経過6  |         |                                                |          |
| 経過7  |         |                                                |          |
| 経過8  |         |                                                |          |
| 経過9  |         |                                                |          |
| 経過10 |         |                                                |          |

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。足元の安全が確保できていなかった。後方からの監視が行き届いていなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | はい  |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい  |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | はい  |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい  |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|     |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

・安全管理情報として全職員に事実の周知を実施し、作業前の十分な事前説明の重要性について、注意喚起した。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

# 受傷状況図

